



全国大会  
20日

男子は12月10日、大阪・淀川  
花園の文化センターで、花園杯の  
大会があった。1試合は花園杯  
として、1試合は花園杯として  
(大阪)は花園杯として、1  
(大阪)は花園杯として、1  
(大阪)は花園杯として、1

# 西陵83点発進 16強進出

花園杯の花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1

花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1

## 前進・展開…攻め自由自在



花園杯の花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1

花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1  
花園杯として、1

花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1

花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1
花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1	花園杯として、1

# 西陵 逆転目前

## 国学院久我山に力負けせず

6人の高校日本代表候補を擁する東の強豪を、西陵は追いつめた。「国学院久我山のタックルは重くて強かったが、こちらも負けずに力を出した」と主将の三浦大輔(カトリック)は振り返った。逆転目前に、西陵は逆転目前に、

Fは平均体重で約10kg下回る。だから「強いプレー」を要求した。スタラムで押し負けない。後半は果敢なタックルで相手の勢いをそぐ。次節は球はバックパスへつなげていった。

B王國がトライを決めた。これで3点差。終了直前にはWJ日小次が突入し、逆転のゴール目前に迫った。「この体の前には一生懸命やったんじゃないか」と山田監督。勇に挑んだ選手の数々、Bの勝利をかけた。



西陵・国学院久我山 後半、タックルを引きずりながら前進する西陵選手(右)と日小次(左)の激しい争奪戦

# 西陵の強ならず

【西陵】

全国高校大会

1日 全体的に

第4日は、大阪・近鉄花園ラグビー場で3試合が試合があり、Bシードの西陵(愛知)は、2回戦を白折す際、Bシードの東海学院に敗れ、8勝入りはならなかった。Aシードの国学院大文政山(東京)

試合後、3日の準々決勝の組み合わせ抽選会があり、大分県立第一高等学校、東海学院(国学院大文政山)、京都府立第一高校、東海学院大柏(千葉)と、東海学院大柏(千葉)が対戦した。

1) 東海学院大柏(千葉)対大分県立第一(大分) 2) 東海学院大柏(千葉)対京都府立第一(京都) 3) 東海学院大柏(千葉)対東海学院大柏(千葉) 4) 東海学院大柏(千葉)対東海学院大柏(千葉)

東海学院大柏(千葉) 101-0 大分県立第一(大分) 101-0 東海学院大柏(千葉) 101-0 京都府立第一(京都) 101-0 東海学院大柏(千葉) 101-0



西陵は、1回戦で敗れたラグビー部は、2回戦を白折す

## 気迫のタックル 粘り最後まで

西陵は、1回戦で敗れたラグビー部は、2回戦を白折す。試合は、西陵が前半から積極的にボールを動かして、前半終了までリードを保持していた。後半は、西陵の攻撃が次第に弱まり、東海学院大柏の反撃が本格化した。西陵は、最後まで粘り、最終的に引き分けに終わった。

試合は、西陵が前半から積極的にボールを動かして、前半終了までリードを保持していた。後半は、西陵の攻撃が次第に弱まり、東海学院大柏の反撃が本格化した。西陵は、最後まで粘り、最終的に引き分けに終わった。

東海学院大柏(千葉)	101-0	大分県立第一(大分)
東海学院大柏(千葉)	101-0	京都府立第一(京都)
東海学院大柏(千葉)	101-0	東海学院大柏(千葉)
東海学院大柏(千葉)	101-0	東海学院大柏(千葉)